

超重量作業台

[KWCタイプ ハンドル昇降移動式]

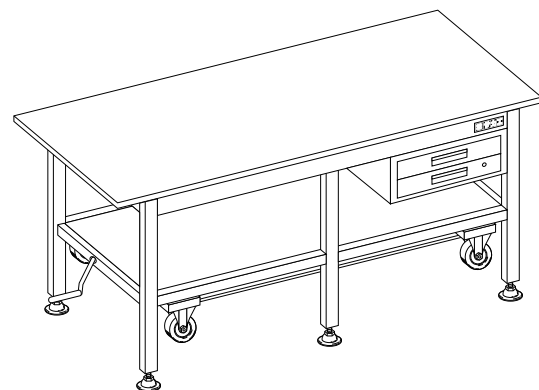
取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださりましてありがとうございます。

この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。

また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。

この説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らず使用し、事故が発生した場合は責任を負いかねますのでご了承ください。



Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101 No.1025 21K-3

使用上のお願い

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△警告 安全のために必ず守っていただきたいこと

1. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
2. 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだまま使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
3. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたまま使用しないで下さい。
4. 引出しはゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。【引出し付】
5. 引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。【引出し付】
6. 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
7. この製品を台車や運搬車のかわりに使用しないで下さい。【キャスター付】
8. この製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。【アジャスター付】
9. 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。【アジャスター付】
10. ハンドル昇降移動式の場合
載せてある物を全ておろし、ハンドルを回し本体を上昇させフリーになる状態にしてから、長辺方向に複数でゆっくり行って下さい。ただし、引出しのある物は鍵をかける等して、引出しが出ないようにして移動して下さい。ただし、床に段差のあるところを移動するときは、アジャスター付の場合と同様に行ってください。
11. 天板の等分布耐荷重（天板全面に均等に物を置いた場合）は、
アジャスター設置時 2,000kg（W1200, W1800タイプ）
5,000kg（W2400タイプ）
移動・昇降時 600kg（全タイプ）
中板・底板の等分布耐荷重（中板・底板全面に均等に物を置いた場合）は100kg/段
引出しの等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）は30kg/段
積載荷重は、天板の耐荷量の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。【中板・底板付】
【引出し付】
12. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明して下さい。

△注意 この製品を末長くご利用いただくためのお願い

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかる場所では、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. この製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。【引出し付】
6. 鍵を掛けるときは、全ての引出しを確実に閉めて下さい。閉まっていないと鍵は掛かりません。【引出し付】
7. 製品をご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。【引出し付】
8. 鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。（有料となります。）【引出し付】
9. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
10. キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
11. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
12. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返して行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。